

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B0503-2		事務事業名		快適で清潔なまちづくり推進事業				事業期間			平成20年度		～	令和8年度以降					
実施計画事業																					
実施計画事業以外の事業		○		担当部		市民生活部				担当課・担当係			ごみ政策課 収集美化係								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編		基本 施策	5	展開 方向	3	事業・予算区分		一般事業		款	2	項	8	目	1	大	5	中	1
	根拠法令 ・個別計画	廃棄物処理法 小牧市快適で清潔なまちづくり条例 等								対象 (何・誰を対象に)		市民・事業者等									
	目的 (何のために)	市・市民等及び事業者が、それぞれの役割の下、地域環境の保全及び美化の促進を図り、「快適で清潔なまち小牧」の実現を目指すものである。								内容 (どのような方法で)		小牧市快適で清潔なまちづくり条例に基づき、地域環境の身近な問題について、市、市民等及び事業者のそれぞれの役割の下、地域環境の保全及び美化活動を実施する。 (市の役割) ・快適で清潔なまちづくりの推進に関する施策の策定及び実施 ・市民等及び事業者に対しての意識啓発及び自発的活動の促進 等 (市民等及び事業者の役割) ・地域環境の保全及び美化の促進を図る活動への参加 ・事業所及びその周辺その他事業活動を行う地域においての地域環境の保全及び美化活動の促進 ・市が実施する快適で清潔なまちづくり施策への協力 【実施方法】 ・市広報、啓発冊子等による意識啓発及び制度の周知 ・クリーンアップ 活動への支援 ・地区大掃除への支援 ・犬のふん放置対策事業(110-カード 作戦)の実施 ・不法投棄物及び散乱ごみ多発地域における防止対策、巡回、不法投棄物及び散乱ごみの撤去・処理 ・路上喫煙禁止区域での啓発、巡回・指導及び散乱ごみ(吸い殻)の撤去 ・廃棄物の堆積により周辺環境を損なう状態にある土地・家屋に対する対策・指導									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	3,217	2,686	2,575	2,234	
				国・県支出金						
				その他						
			計(A)		3,217	2,686	2,575	2,234		
			対前年比		%	—	83.49%	95.87%	86.76%	
		予算額		千円	3,715	3,148	2,918	2,929	2,945	
	人件費	正規職員		人	1.5	1.5	1.5	1.5		
		正規職員(平均賃金)		千円	11,229	11,229	11,229	11,229		
		その他職員		人	5	5	5	5		
		その他職員(時給×時間)		千円	7,960	8,024	8,226	8,440		
		計(B)		千円	19,189	19,253	19,455	19,669		
	事業費合計(C=A+B)			千円	22,406	21,939	22,030	21,903		

(3)業績

展開方向における指標 の推移	基本施策	5	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	回収した不法投棄のごみの量	t	↘	24	16	—	—	
	展開方向	3	2	アダプトプログラム活動者数	人	↗	15,186	16,267	—	—	
			3	クリーンアップ活動者数	人	↗	43,430	95,534	—	—	

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	不法投棄量 (ポイ捨てごみを含む)	t	目標					
				実績	34.57	28.85	24.36	15.55	
				目標					
				実績					
	活動指標	アダプトプログラム活動者数	人	目標					
				実績	14,493	12,548	15,186	16,267	
		クリーンアップ活動者数	人	目標					
				実績	27,767	36,768	43,430	95,534	
	単位あたり 事業費	受益者数(a)		人					
受益者あたり事業費(=C/a)		円							

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの								
	事業の達成状況と課題	市民等及び事業者による美化活動について、いわゆる「クリーンアップ活動」では、新型コロナウイルス感染症の影響から令和2年度に大幅に活動数が減少したが、完全にコロナ禍から脱した令和5年度は、展開方向における指標の基準値の2倍以上となり、コロナ禍前の水準まで回復した。 また、市民活動の増加に伴い、不法投棄量(ポイ捨てごみを含む)も減少しており、当該事業の実現に向け、順調に進捗している。 課題としては、当該事業によって、不法投棄量が減少するなど、「快適で清潔なまち小牧」の実現に着実に近づいているが、不法投棄やポイ捨てが完全になくなることはないことから、一人でも多くの市民や小牧市を訪れる方に対しても、環境美化に対する意識付けができるような取組みを進める必要がある。		今後の実施内容・今後の改善内容	クリーンアップ活動は、継続的に行うことが重要であり、成果につながるものであるため、引き続き、活動者の増加及び市民の意識向上につながる周知・啓発に努める。 また、NHK大河ドラマで脚光を浴びた「史跡小牧山」や新たに整備される「小牧山東公園」の来訪者による周辺への影響を踏まえ、路上喫煙禁止区域の区域拡大について、検討を行う。						
	改善の有無	有									
	これまでの改善内容	長年の成果により、市内のポイ捨てごみは減少傾向にあり、本市のシンボル「史跡小牧山」においても同様である。このため、毎年4月上旬に開催していた「小牧山美化ワーク」の初期の目的を達成したものと考え、廃止することとした。(令和5年度に決定、令和6年度から廃止)		事務事業評価による額							
					千円	節		細節		細々節	

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	行政が介入せずとも、一定数のボランティアは存在すると思われるが、現状維持若しくは現状以上にするには、ボランティアだけでは行えないため、公費の投入は妥当である。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	活動者は減少し、不法投棄及びポイ捨てごみは増加する。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	必要最低限で運用しているため、現状のままとしたい。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	当該事業は市民との協働により成り立っており、市民の意識向上にもつながっている。この事業を外部に委託することとなれば、市民の意識は低下し、事業費も更に高額化するものとする。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	お金を徴収するものではない。